

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性			
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因
1 高齢者の 生きがいつ くりの推 進	①高齢者の生きがいつくりの推進	23	クラブ数	実績値	49	45	—	・各クラブにおいて、会員が長年培ってきた知識や経験を活かした社会活動を通し、会員相互の健康づくりや高齢者の生きがい、地域づくりに取り組んだ。	—	・クラブ数及び会員数ともに減少傾向であるため、老人クラブが設立していない地区等へ重点的なPRをするとともに、前期高齢者の新規加入を促進し、後継者の育成支援を行う。
			会員数	実績値	1,677	1,406				
	②敬老事業の実施と支援	24	敬老模範家庭の表彰件数	実績値	3	2	—	・敬老模範家庭及び金婚夫婦の表彰や敬老祝金（市内商店共通商品券）の贈呈等を通じて、市民の敬老精神の高揚・啓発を図った。 ・各地区敬老会事業の運営費として補助金を交付し、地域における高齢者の交流を支援した。	—	・高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも元気に生活できるよう、各地区敬老会事業への支援を継続するとともに、市民への敬老意識の啓発に努める。 ・平均寿命の延伸に伴い、対象者の増加による事業費の増大が課題となっており、敬老祝金の支給対象年齢、支給金額の見直しを含め、持続可能な敬老事業の在り方について検討する。
			金婚夫婦の表彰組数	実績値	240	138				
			敬老会事業補助金の交付額（千円）	実績値	12,207	12,916				
			敬老祝い金の支給 77歳【1万円】	実績値	1,098	850				
			敬老祝い金の支給 88歳【2万円】	実績値	393	352				
	③生涯学習の機会の提供（高齢者学級への参加状況）	25	忍行田公民館（人数）	実績値	69	145	—	・高齢者の生涯学習への意欲や学習機会のニーズが高まっていることから、各年齢に応じた事業内容の工夫や利用の促進を図り、公民館が高齢者にとってより身近な魅力ある施設となるよう取り組んだ。	—	・高齢者の公民館活動の活性化を推進し、講座内容の改善に努めるとともに学習ニーズを的確に把握し参加者の増加に努める。 ・参加者自らが、公民館で得た知識や技能をそれぞれの地域に還元し、地域社会へ貢献できるよう支援を継続する。
			忍行田公民館（開催回数）	実績値	4	9				
			佐間公民館（人数）	実績値	134	124				
			佐間公民館（開催回数）	実績値	5	5				
			長野公民館（人数）	実績値	203	217				
			長野公民館（開催回数）	実績値	8	11				
			桜が丘公民館（人数）	実績値	89	0				
			桜が丘公民館（開催回数）	実績値	6	0				
			星河公民館（人数）	実績値	0	57				
			星河公民館（開催回数）	実績値	0	7				
			持田公民館（人数）	実績値	81	170				
			持田公民館（開催回数）	実績値	6	8				
			荒木公民館（人数）	実績値	63	88				
			荒木公民館（開催回数）	実績値	4	6				
			須加公民館（人数）	実績値	66	61				
			須加公民館（開催回数）	実績値	4	7				
			北河原公民館（人数）	実績値	32	55				
			北河原公民館（開催回数）	実績値	3	5				
			埼玉公民館（人数）	実績値	0	0				
			埼玉公民館（開催回数）	実績値	0	0				
			星宮公民館（人数）	実績値	81	235				
			星宮公民館（開催回数）	実績値	5	16				
			太井公民館（人数）	実績値	121	141				
			太井公民館（開催回数）	実績値	8	9				
			下忍公民館（人数）	実績値	45	110				
	下忍公民館（開催回数）	実績値	4	7						
太田公民館（人数）	実績値	64	86							
太田公民館（開催回数）	実績値	7	8							
地域文化センター（人数）	実績値	41	49							
地域文化センター（開催回数）	実績値	8	10							
南河原公民館（人数）	実績値	55	34							
南河原公民館（開催回数）	実績値	2	2							

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性					
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性	
1 高齢者の生きがいくくりの推進	(1) 高齢者の生きがいくくりの推進	④いきいきサロン事業の充実	設置数	目標値	93	94	95	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力員講習会の開催</li> <li>・代表者連絡会の開催</li> <li>・サロン活動を一助として、出前講座の活用や、一芸ボランティア、サロン用具の貸出のPR</li> <li>・サロンへの取材</li> <li>・ホームページ掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、集合型で開催できる機会や、人と人が会う機会の減少</li> <li>・運営する協力員、参加者の高齢化(運営の後継者がいない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等の定年が延長されてきていることから、運営者やボランティアにおける世代交代が難しくなっている。民生委員や自治体を通して、サロンの役割をPRしていくとともに、各サロンの活動の様子などを、定期的に社協HPやフェイスブックなどでも更新していく。</li> </ul>	
				実績値	85	81						
			参加人数	目標値	1,800	1,820	1,840					
				実績値	1,777	1,509						
			協力人数	目標値	520	525	530					
				実績値	515	479						
	⑤総合福祉会館における各種事業の充実	27	機能回復訓練室利用人数（障がい者を含む）	目標値	12,100	16,150	17,000	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、各事業を継続</li> <li>・新規利用者確保を図るため、社協ホームページや社協だよりにて事業を周知</li> <li>・一般介護予防教室の普及啓発促進を図るため、市内公民館や老人福祉センター南河原荘を会場に教室を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策の徹底やワクチン接種が進んだことで、利用者は増加傾向にあるが、コロナ前の水準には戻っていないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気や消毒など施設内の衛生管理を徹底し、利用者の安全確保に努めるとともに、個別指導も提供するなど利用者ニーズに沿った指導の充実を図る。また、自治体が提供する情報に加え、SNSやウェブサイトなどのオープンプラットフォームを活用して情報発信に努める。</li> </ul>	
				実績値	5,864	8,400						
			プール利用人数	目標値	6,400	8,550	9,000					
				実績値	5,671	5,760						
			水中ウォーキング参加者数	目標値	65	70	75					
				実績値	15	28						
陶芸教室参加者数	目標値	100	105	110								
	実績値	67	104									
水泳教室参加者数	目標値	100	105	110								
	実績値	33	37									
脳トレ体操教室参加者数	目標値	70	75	80								
	実績値	100	99									
2 高齢者の生きがいくくりの推進	(1) 地域社会との接点の創出	①いきいき・元気サポート制度の充実	29	登録者総数	目標値	140	150	160	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成講座を開催し、新規サポーターの加入促進を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたことから、サポーター登録者数、年間活動時間ともに目標値を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの高齢化が進んでいることから、現役世代も含めた新たなサポーターの掘り起こしを行う。</li> <li>・サポーターの活躍の場を広げるため、活動内容の見直しや活動しやすい環境の整備を行う。</li> </ul>
					実績値	119	109					
		年間活動時間	目標値	2,500	2,600	2,700						
			実績値	1,986	1,626							
	②ボランティア団体への支援	30	加盟団体	目標値	45	48	50	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ボランティア団体間の連携や交流を目的とした定例会を開催し、活動に関する情報交換や、合同事業の企画等に関する話し合いを行っている。</li> <li>・ボランティアの育成支援や派遣などのほか、4団体あるボランティア団体連絡協議会の調整役として、各団体の連携や交流を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で活動団体の休止や解散があった。</li> <li>・以前は、6団体でボランティア団体連絡協議会に加盟していたが、2団体が退会した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の活性化のため、新たな団体の発掘や、あらゆる世代が気軽に活動できる環境づくりが必要。</li> <li>・各種講座や教室の開催により、引き続き個人や団体の支援、育成等に努めるとともに、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる体制づくりに努める。</li> <li>・ボランティア団体連絡協議会の活動を積極的に情報発信することで、加盟団体の増加へとつなげ、各団体のネットワークを通じてボランティア活動の活性化を図る。</li> </ul>	
				実績値	36	36						
			加盟団体構成人数	目標値	620	650	670					
				実績値	591	558						
	(2)シルバー人材センター事業の運営・支援	31	登録者総数	目標値	365	370	375	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市報ぎょうだ」に会員募集等の記事を掲載（令和5年3月）</li> <li>・新規会員の確保を図るため、公共施設等にパンフレットを配架</li> <li>・毎月2回入会説明会を開催</li> <li>・会員自らが会員獲得の働きかけに取り組む「1人1会員入会」活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者雇用安定法が改正され、企業に70歳までの就業機会の確保が努力義務として講じられたこと等により、新規会員の確保が難しくなっている。</li> <li>・会員の高齢化に伴い（令和5年3月末現在、平均年齢74.3歳）、就業できる業種が限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新入会員の確保に向け各種PR活動を行う。</li> <li>・女性会員が少ない（全体の3割程度）ことから、女性会員の加入促進を図る。</li> <li>・会員の培った経験や知識を活かせるよう、就労機会の拡大に努める。</li> </ul>	
				実績値	334	329						

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性					
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性	
1 高齢者の健康保持・増進	(1) 健康づくりの推進	①健康づくりマイスター養成講座の充実	32	健康づくりマイスター養成事業参加人数	見込値	40	45	50	未達成	・令和2年度から「市民けんこう大学」を「健康づくりマイスター養成事業」に改め、市民がより気軽に参加できるよう、実施体制を見直し ・健康づくりに関する各種講座を、年間を通じて定期的に提供し、認定要件を満たした方を「健康づくりマイスター」として認定	・申込制ではないため、対象講座の参加者すべてに本事業のポイントカード及びチラシを配布し、毎回説明を行うなどの周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数の制限や、緊急事態宣言の発令を受けて講座の開催見合わせを行ったことで、対象講座の実施回数が少なかったことが大きく影されたと思われる。	・定期的に対象講座を実施し、引き続き積極的な参加を促す周知を行う。
					実績値	4	0					
		②健康相談の充実	33	相談者数	見込値	40	45	45	未達成	・事前予約制とし、月に1日、相談日を設けた定例相談と相談日に来所できない方に日時を調整して実施する随時相談を実施 ・保健師、栄養士、歯科衛生士による食事、生活習慣、歯についての相談を実施	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、相談人数が減った年もあったが徐々に回復してきている。	・コロナ禍の収束により相談人数も徐々に回復しているが、周知や実施の方法などを工夫し、引き続き、気軽に相談できる場の創出に努めるとともに、一人多くの方の疑問に応え、その相談に真摯に向き合っていく。
	実績値	26	35									
	③健康教育の充実	33	開催回数	目標値	60	60	60	未達成	・新規の参加者が少ないため、民間企業等の講師による講座など、市民のニーズにあった講座を開催することで新規参加者の増加に努めている。	・市民けんこう大学・大学院の廃止及び新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた講座を中止したり定員を制限したため。	・市民のニーズや社会情勢に合った教室の開催や、周知方法の工夫により参加意欲を高め、より多くの方へ情報提供及び行動変容に取り組んでいく。	
	実績値	30	34									
	④がん検診の受診促進	34	胃がん検診受診者数	目標値	1,300	1,300	1,300	未達成	・がんの早期発見、治療のため、肺、胃、大腸、乳、子宮がん検診を集団方式（年間15回）と個別方式（市内21医療機関）で実施 ・検診は、「市報ぎょうだ」「保健事業のお知らせ」等で周知	・検診の周知は、自治会回覧、市報などを中心に行ったが、十分ではなかった。また新型コロナウイルス感染症の拡大による外出制限などにより、受診控えなどがあったと考えられる。	・令和5年度より、検診の周知方法として、節目年齢（20歳、30歳、40歳、50歳、60歳）の対象者へ個別通知の送付を開始するとともに新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、市民の生活が活発化していることを踏まえ、有効な検診の実施方法や周知方法を検討していく。	
				実績値	940	1,022						
			乳がん検診の受診者数	目標値	1,200	1,200	1,200					
				実績値	1,024	925						
			子宮がん検診の受診者数	目標値	1,000	1,000	1,000					
				実績値	851	943						
			肺がん検診の受診者数	目標値	1,300	1,300	1,300					
				実績値	912	1,064						
大腸がん検診の受診者数			目標値	4,500	4,500	4,500						
			実績値	3,742	3,703							
胃がん検診の受診率	目標値	2.5	2.5	2.5								
	実績値	2.5	2.1									
乳がん検診の受診率	目標値	4.5	4.5	4.5								
	実績値	7.6	8.8									
子宮がん検診の受診率	目標値	2.9	2.9	2.9								
	実績値	4.4	4.9									
肺がん検診の受診率	目標値	2.5	2.5	2.5								
	実績値	1.1	2.0									
大腸がん検診の受診率	目標値	8.6	8.6	8.6								
	実績値	4.0	7.0									
⑤歯周疾患検診の受診促進	35	受診者数	目標値	270	270	270	未達成	・壮年期以降における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的とし、40歳、50歳、60歳、70歳の方へ受診勧奨通知を送付し、受診者の増加を図っている。	・就労世代である40歳、50歳、60歳の方への歯周病への理解や関心が得られなかった。	・就労世代（40歳、50歳、60歳）への周知の強化と併せて、受診費用の全面免除（70歳以上の方）を継続することで、引き続き、受診の促進に努める。		
実績値	92	246										
⑥肝炎ウイルス検診の受診促進	36	受診者数	見込値	30	30	30	未達成	・40歳以上の方で今まで肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に実施。B型肝炎C型肝炎に関する抗体検査を実施。	・周知については「保健事業のお知らせ」のみで、市民の認知度が低く、申込があった場合でも、すでに実施済みの方も一定数いるため。	・肝炎に関する正しい知識の普及に努め、検診が必要となる方が受診できるよう、周知を行う。		
実績値	22	30										
⑦高齢者肺炎球菌予防接種の推進	36	接種査数	見込値	1,200	1,200	1,200	未達成	・定期接種は65歳のみが対象であるが、令和5年度まで70歳から5歳刻みの年齢の方も対象として実施。令和6年度以降は65歳の方が対象。予診票を個人へ発送し、1月に再勧奨のハガキを送付。	・接種の必要性についての十分な周知ができていなかった。	・令和5年度では1月に再勧奨のハガキを送付。 ・令和6年度からは65歳になる誕生日を目安に予防接種予診票を送付。接種情報を提供していく。		
実績値	1,110	1,170										

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
1 高齢者の健康保持・増進	⑧高齢者インフルエンザ予防接種の推進	37	接種者数	見込値	13,000	13,000	13,000	達成	・定期接種として、高齢者インフルエンザ予防接種を65歳以上の方を対象に実施。	・新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されたため接種者数の増加 ・市内だけでなく、埼玉県相互乗り入れ事業に参加している医療機関で接種できることから、かかりつけ医から接種を勧められ接種者数の増加	・市報や市ホームページなどで周知を行い、多くの方が接種できるよう努める。
			実績値	14,496	14,525						
	⑨特定健康診査・特定保健指導及び後期高齢者健康診査の受診促進	38	特定健康診査(対象者数)	実績値	13,725	13,006		-	・高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び後期高齢者健康診査を実施し、生活習慣病の予防や早期発見につなげることで、重症化を予防し、健康寿命の延伸や今後増大する医療費の抑制に努めた。	-	・特定健康診査の受診率向上のために、ハガキや電話等による未受診者への積極的な受診勧奨や受診歴のある方に対しても継続受診を促すなど対象者の属性に応じた取組を実施する。 ・受診の結果、生活習慣を改善する必要性が高いと判定された方に対しては、引き続き特定保健指導を実施する。
特定健康診査(受診者数)	実績値	4,833	4,944								
特定健康診査(受診率)	実績値	35	38								
後期高齢者健康診査(対象者数)	実績値	11,189	11,695								
後期高齢者健康診査(受診者数)	実績値	2,503	2,589								
後期高齢者健康診査(受診率)	実績値	22.4	22.1								
⑩もの忘れ検診(認知症検診)	39	登録者数	見込値	100	150	200	未達成	・毎年度末時点で50・55・60・65・70歳の者を対象に、認知症の早期発見と早期治療を促進する目的で実施している。 ・また、もの忘れ検診で認知機能の低下が認められた者に対して、薬剤師による訪問指導(居宅療養管理指導)を実施している。	・市民に対する周知不足が考えられる。 ・市でももの忘れ検診の受付を行ったものの、医療機関での検診受診まで至っていない人がいる。 ・対象でない年齢の市民から受診希望の問い合わせがあり、受付を断らざるを得ないケースがある。	・保険年金課や健康づくり課と連携して市民に対する周知を実施したが、見込み量には届かなかった。別の周知方法が必要と思われる。 ・令和4年度は、50歳の受診者数が0人だった一方で、70歳の受診者数が12人で全体の63%を占めた。検診対象年齢の見直し等の検討が必要と思われる。	
実績値	13	19									
2 高齢者福祉サービスの充実	(1) 高齢者に関する実施の把握	41	支えあいマップの作成・更新作業自治会数	実績値	69	60		-	・高齢者等の抱える様々な生活課題に対し、個別の支援へとつなげられるよう、自治会や民生委員など、地域の支援者が中心となり「支えあいマップ」を作成し、見守り活動や実態把握等を行った。 ・見守りだけでなく、要援護高齢者を具体的な支援へとつなげられるよう、民生委員や地域包括支援センター相談協力員、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの関係者による「地域支援ネットワーク会議」を開催することにより、情報の共有を図り、多角的・重層的な支え合いの仕組みを整えた。	-	・社会福祉協議会と連携し、地域での見守り活動や、災害時の要支援への支援活動にかつ寄れている「支え合いマップ」の更新や、事業所との協定締結により、地域の支え合いの仕組みづくりに引き続き取り組んでいく。 ・地域支援ネットワーク会議を継続的に開催し、地域支援者から支援を必要とする方の把握と関係機関との支援の調整を引き続き行い、早期発見、早期対応に務める。
			地域安心ネットワーク協定の締結数	実績値	未締結	未締結					
			地域支援ネットワーク会議の開催数	実績値	25	66					
	②ひとり暮らし高齢者等の実数調査	42	ひとり暮らし高齢者数	実績値	3,410	3,681		-	・地域の実情に精通した民生委員の協力のもと、各戸を訪問して在宅高齢者に関する調査実施した。	-	・支援を必要とする高齢者の見守り活動や、緊急時における必要機関等への連絡、熱中症予防対策など、各種施策を実施するための基礎資料として、引き続き調査を実施するとともに、収集した情報の有効活用を努める。
			高齢者のみの世帯数	実績値	3,822	3,922					
	①在宅重度要介護高齢者等介護者手当の支給	42	受給者数	実績値	110	107		-	・要介護4又は要介護5の要介護認定を受けている方を在宅で介護している介護者に対し、月額5千円の手当を支給することにより、当該介護者の身体的、精神的及び経済的な負担の軽減を図った。	-	・引き続き手当を支給することで介護者の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図るとともに、制度の周知に努める。
	③乳酸飲料等の配達による安否確認	45	利用者数	実績値	381	144					
	④寝具の乾燥及び丸洗の実施	45	利用者数	実績値	9	10		-	・要介護4又は5の認定を受けてから、3か月以上継続した者、又は75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象として、その保健衛生の向上を図るため、寝具の乾燥及び丸洗いを年4回、実施した。	-	・利用希望者が少ないことから、サービスの必要性を検討する。
⑤日常生活用具の給付	46	電磁調理器(台)	実績値	4	1						
		自動消火器(台)	実績値	0	0						
⑥福祉電話の貸与	46	福祉電話(回線数)	実績値	5	5		-	・低所得のひとり暮らし高齢者(生活保護法による被保護者)に対し、その孤独感の解消と安否確認に資するため、電話回線の貸与を行った。	-	・利用希望者が少ないことから、サービスの必要性を検討する。	

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
2 高 齢 者 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実	⑦緊急通報装置の 給付	47	利用者数（人）	実績値	368	363		—	・在宅のひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者等に日常生活上の不安等を軽減及び生活の安全確保を図るため、緊急通報装置の給付を行った。	_____	・令和5年度から固定電話回線をお持ちでない方でも利用できる「携帯型」の緊急通報装置を導入。 ・利用者の対象範囲を広げることで、見守り体制の充実を図る。
			新規登録者数（人）	実績値	27	37					
	⑧要援護高齢者等の 一時保護	47	利用件数	実績値	2	1		—	・養護者の虐待により、高齢者が一時的な保護を必要とする場合などに、被虐待高齢者の養護者からの分離のための一時保護を、施設に委託し実施している。	_____	・虐待を受けた高齢者の安全確保のため、引き続き実施していく。 ・一時保護期間終了後の被虐待高齢者及び養護者支援について、併せて行っていく。
				実績値	2	1					
	⑨訪問介護サービス 利用者負担額の助成	48	助成人数	実績値	58	52		—	・訪問介護サービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、第1号訪問事業を利用している低所得者（生計中心者の前年分の市民税が非課税の世帯に属する者）に対し、利用者の経済的負担を軽減することを目的として、訪問介護サービス利用者負担額の助成（利用料の半額）を行っている。	_____	・今後も低所得者の経済的負担の軽減を図るため、引き続き実施する。 ・一方で、今後の利用者増を踏まえ、持続可能な制度とするため、助成対象者や助成対象サービスについて、他市町村の状況を参考に再検討を行っていく。
				実績値	58	52					
	⑩いきいき・元気サ ポーターによる生活 支援	49	利用登録者数	目標値	200	220	240	未達成	・サポーター研修の開催 （新規サポーター獲得に向けた養成研修を含む） ・付き添い支援に携わるサポーターの運転講習の開催 ・ネットワーク会議等、多くの方が集まる場所でのPR	_____	・企業等の定年退職年齢が延びてきていることから、新規サポーターの参入が難しく、サポーターの数が不足し、利用登録者数が減少している。
実績値				177	134						
⑪車いすの貸出し	49	貸出し件数	見込値	50	60	70	—	・要介護・要支援の認定を受けた高齢者のうち、要支援1、要支援2または要介護1の方に対し、車いすを6か月間、無料で貸し出した。	_____	_____	・引き続き、無料での貸出しを実施していく。
			実績値	45	42						
⑫福祉車両の貸出し	50	貸出し件数	見込値	160	170	180	—	・日常的に車いすを利用している高齢者等に対し、車いすのまま乗降できる福祉車両の貸出しを無料で行った。	_____	_____	・引き続き、無料での貸出しを実施していく。
			実績値	209	136						
⑬訪問理美容サー ビスの実施	50	利用者数	見込値	20	25	30	—	・介護保険法による要介護認定を受けた高齢者のうち、要介護3から要介護5の方に対し、理容師または美容師が居宅を訪問し、調髪などのサービスを提供した。	_____	_____	・引き続き、サービスを実施していく。
			実績値	14	6						

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
1 介護保険サービスの充実	(2) 保険給付（介護給付・予防給付）に係る各種サービスの推進	57	アー① 訪問介護 利用人数（人）	見込値	3,932	4,049	4,170	-	・要介護者が生活機能の維持・改善を図れるよう、または、要支援者が要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、各サービス事業者により、自宅等の生活の場において「居宅サービス」または「介護予防サービス」を提供した。		
				実績値	4,449	4,704					
		57	アー① 訪問介護 金額（千円）	見込値	168,643	182,134	202,974	-			
				実績値	200,095	215,982					
		57	アー② 訪問入浴介護 利用人数（人）	見込値	636	655	674	-			
				実績値	557	512					
		57	アー② 訪問入浴介護 金額（千円）	見込値	32,761	34,891	37,159	-			
				実績値	29,397	29,006					
		57	アー② 介護予防訪問入浴介護 利用人数（人）	見込値	0	0	0	-			
				実績値	0	6					
		57	アー② 介護予防訪問入浴介護 金額（千円）	見込値	0	0	0	-			
				実績値	0	357					
		58	アー③ 訪問看護 利用人数（人）	見込値	2,389	2,627	2,968	-			
				実績値	2,710	2,814					
		58	アー③ 訪問看護 金額（千円）	見込値	125,174	143,950	165,542	-			
				実績値	117,265	120,935					
58	アー③ 介護予防訪問看護 利用人数（人）	見込値	467	537	617	-					
		実績値	378	548							
58	アー③ 介護予防訪問看護 金額（千円）	見込値	13,800	14,490	15,939	-					
		実績値	9,904	14,060							
58	アー④ 訪問リハビリテーション 利用人数（人）	見込値	647	666	699	-					
		実績値	592	697							
58	アー④ 訪問リハビリテーション 金額（千円）	見込値	24,472	26,919	29,611	-					
		実績値	20,234	22,923							
58	アー④ 介護予防訪問リハビリテーション 利用人数（人）	見込値	121	123	125	-					
		実績値	235	168							
58	アー④ 介護予防訪問リハビリテーション 金額（千円）	見込値	4,837	5,079	5,587	-					
		実績値	9,071	5,593							
59	アー⑤ 居宅療養管理指導 利用人数（人）	見込値	4,175	4,383	4,645	-					
		実績値	6,349	6,983							
59	アー⑤ 居宅療養管理指導 金額（千円）	見込値	38,678	46,414	55,697	-					
		実績値	45,336	51,562							
59	アー⑤ 介護予防居宅療養管理指導 利用人数（人）	見込値	528	538	548	-					
		実績値	449	524							
59	アー⑤ 介護予防居宅療養管理指導 金額（千円）	見込値	4,264	4,477	4,925	-					
		実績値	3,585	3,926							

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
1 介護保険サービスの充実	(2) 保険給付（介護給付・予防給付）に係る各種サービスの推進	59	アー⑥ 通所介護	利用人数（人）	見込値 9,885	10,082	10,384	-	・要介護者が生活機能の維持・改善を図れるよう、または、要支援者が要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、各サービス事業者により、自宅等の生活の場において「居宅サービス」または「介護予防サービス」を提供した。		
				実績値 9,600	9,702						
		59	金額（千円）	見込値 866,125	887,778	909,973	-				
				実績値 873,389	875,713						
		60	アー⑦ 通所リハビリテーション	利用人数（人）	見込値 3,046	3,137	3,231	-			
				実績値 2,862	2,887						
		60	金額（千円）	見込値 198,900	211,829	225,597	-				
				実績値 177,815	168,706						
		60	アー⑦ 介護予防通所リハビリテーション	利用人数（人）	見込値 1,445	1,488	1,532	-			
				実績値 1,660	1,833						
		60	金額（千円）	見込値 48,880	51,324	56,456	-				
				実績値 55,357	62,375						
		60	アー⑧ 短期入所生活介護	利用人数（人）	見込値 3,988	4,107	4,230	-			
				実績値 3,869	3,764						
60	金額（千円）	見込値 520,200	546,210	573,521	-						
		実績値 557,685	529,852								
60	アー⑧ 介護予防短期入所生活介護	利用人数（人）	見込値 141	145	149	-					
		実績値 81	70								
60	金額（千円）	見込値 5,121	5,377	5,915	-						
		実績値 3,053	2,735								
61	アー⑨ 短期入所療養介護	利用人数（人）	見込値 544	560	582	-					
		実績値 667	624								
61	金額（千円）	見込値 64,050	69,174	74,708	-						
		実績値 81,303	80,780								
61	アー⑨ 介護予防短期入所療養介護	利用人数（人）	見込値 17	18	19	-					
		実績値 7	5								
61	金額（千円）	見込値 624	655	721	-						
		実績値 221	154								
61	アー⑩ 特定施設入居者生活介護	利用人数（人）	見込値 1,580	1,627	1,675	-					
		実績値 1,880	1,936								
61	金額（千円）	見込値 323,432	329,900	339,797	-						
		実績値 366,087	375,397								
61	アー⑩ 介護予防特定施設入居者生活介護	利用人数（人）	見込値 320	336	352	-					
		実績値 204	215								
61	金額（千円）	見込値 24,856	26,347	28,982	-						
		実績値 15,650	15,218								

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性			
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因
1 介護保険サービスの充実	(2) 保険給付（介護給付・予防給付）に係る各種サービスの推進	62	アー⑪ 福祉用具貸与	利用人数（人）	見込値 10,582	10,899	11,225	-	・要介護者が生活機能の維持・改善を図れるよう、または、要支援者が要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、各サービス事業者により、自宅等の生活の場において「居宅サービス」または「介護予防サービス」を提供した。  ・要介護・要支援者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、各サービス事業者により、地域の特性に応じた「地域密着型サービス」または「地域密着型介護予防サービス」を提供した。 ・認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の増加を踏まえて、住み慣れた地域での生活を継続できるように、市が事業者の指定及び指導・監督を行い、ニーズを把握しながらサービスの利用促進を図った。	・要介護者の増加傾向等を勘案すると、今後サービス量の増加が見込める。  ・要介護者の増加傾向等を勘案すると、今後サービス量の増加が見込める。
				金額（千円）	見込値 144,933	152,180	159,789			
			実績値 11,653	12,285						
			実績値 148,403	157,412						
		62	アー⑪ 介護予防福祉用具貸与	利用人数（人）	見込値 2,098	2,139	2,181	-		
				金額（千円）	見込値 8,914	9,360	10,296			
		62	アー⑫ 特定福祉用具販売	利用人数（人）	見込値 174	179	184	-		
				金額（千円）	見込値 5,000	6,500	8,775			
		62	アー⑫ 特定介護予防福祉用具販売	利用人数（人）	見込値 53	58	63	-		
				金額（千円）	見込値 1,000	1,050	1,155			
		64	イー① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用人数（人）	見込値 186	187	188	-		
				金額（千円）	見込値 24,255	24,983	25,732			
	64	イー② 夜間対応型訪問介護	利用人数（人）	見込値 0	0	0	-			
			金額（千円）	見込値 0	0	0				
65	イー③ 地域密着型通所介護	利用人数（人）	見込値 2,764	2,819	2,875	-				
		金額（千円）	見込値 191,900	199,576	207,559					
65	イー④ 認知症対応型通所介護	利用人数（人）	見込値 48	48	276	-				
		金額（千円）	見込値 7,599	7,761	44,624					
65	イー④ 介護予防認知症対応型通所介護	利用人数（人）	見込値 0	0	0	-				
		金額（千円）	見込値 0	0	0					
65	イー④ 介護予防認知症対応型通所介護	実績値 16	15		-					
		実績値 2,276	3,408							
65	イー④ 介護予防認知症対応型通所介護	実績値 0	0		-					
		実績値 0	0							

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
1 介護保険サービスの充実	(2) 保険給付（介護給付・予防給付）に係る各種サービスの推進	66	イー⑤ 小規模多機能型居宅介護	利用人数（人）	見込値 649	651	653	-	・要介護・要支援者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、各サービス事業者により、地域の特性に応じた「地域密着型サービス」または「地域密着型介護予防サービス」を提供した。 ・認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の増加を踏まえて、住み慣れた地域での生活を継続できるように、市が事業者の指定及び指導・監督を行い、ニーズを把握しながらサービスの利用促進を図った。		・要介護者の増加傾向等を勘案すると、今後サービス量の増加が見込める。
				実績値 626	618						
		金額（千円）	見込値 129,150	131,733	134,368						
			実績値 128,372	133,728							
		66	イー⑤ 介護予防小規模多機能型居宅介護	利用人数（人）	見込値 70	72	74	-			
				実績値 63	71						
		金額（千円）	見込値 4,575	4,666	4,806						
			実績値 5,468	6,032							
		66	イー⑥ 認知症対応型共同生活介護	利用人数（人）	見込値 755	770	785	-			
				実績値 668	622						
		金額（千円）	見込値 194,091	197,973	201,932						
			実績値 172,418	157,851							
		66	イー⑥ 介護予防認知症対応型共同生活介護	利用人数（人）	見込値 0	0	0	-			
				実績値 9	12						
金額（千円）	見込値 0	0	0								
	実績値 2,223	2,998									
67	イー⑦ 地域密着型特定施設入居者生活介護	利用人数（人）	見込値 0	0	0	-					
		実績値 0	0								
金額（千円）	見込値 0	0	0								
	実績値 0	0									
67	イー⑧ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	利用人数（人）	見込値 300	300	300	-					
		実績値 304	300								
金額（千円）	見込値 78,672	79,459	80,254								
	実績値 84,010	82,989									
68	イー⑨ 看護小規模多機能型居宅介護	利用人数（人）	見込値 0	0	0	-					
		実績値 0	0								
金額（千円）	見込値 0	0	0								
	実績値 0	0									
69	ウー① 居宅住宅改修費	利用人数（人）	見込値 201	211	221	-					
		実績値 185	157								
金額（千円）	見込値 18,218	19,128	22,042								
	実績値 18,221	15,341									
69	ウー① 介護予防住宅改修費	利用人数（人）	見込値 106	116	127	-					
		実績値 87	108								
金額（千円）	見込値 9,500	9,975	10,973								
	実績値 8,300	10,773									

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
1 介護保険サービスの充実	エー① 居宅介護支援	70	利用人数（人）	見込値	20,613	21,128	21,656	-	・要介護・要支援者の心身の状況や、その置かれた環境、本人や家族の希望等を勘案し、居宅介護支援事業者または介護予防支援事業者により「居宅サービス計画」または「介護予防サービス計画」（通称：ケアプラン）を作成した。 ・ケアプランに基づくサービスの提供が確保されるよう、事業者等との連絡調整などを行った。		・要介護者の増加傾向等を勘案すると、今後サービス量の増加が見られる。
			実績値	20,265	20,791						
	金額（千円）	見込値	295,800	306,153	316,868						
	実績値	304,939	314,657								
	エー① 介護予防支援	70	利用人数（人）	見込値	3,532	3,602	3,674	-			
			実績値	3,778	4,153						
	金額（千円）	見込値	16,758	17,599	18,479						
	実績値	17,744	19,474								
	オー① 介護老人福祉施設サービス	71	利用人数（人）	見込値	5,766	5,783	5,800	-			
			実績値	5,668	5,465						
	金額（千円）	見込値	1,535,005	1,550,355	1,573,610						
	実績値	1,477,540	1,452,804								
オー② 介護老人保健施設サービス	72	利用人数（人）	見込値	1,829	1,865	1,939	-				
		実績値	1,783	1,758							
金額（千円）	見込値	549,045	568,261	588,150							
実績値	501,550	492,135									
オー③ 介護療養型医療施設サービス	72	利用人数（人）	見込値	24	25	26	-				
		実績値	31	12							
金額（千円）	見込値	5,763	5,878	5,996							
実績値	11,204	4,012									
オー④ 介護医療院サービス	73	利用人数（人）	見込値	35	36	37	-				
		実績値	60	40							
金額（千円）	見込値	14,709	15,151	15,605							
実績値	20,600	13,930									

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性					
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性	
2 介護 予防 の 推 進	(1) 介護 予防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業	ア-①訪問型 サービス	88	訪問介護（旧制度介護 予防訪問介護相当）	見込値	1,353	1,323	1,309	未達成	・訪問型サービスCについて、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり伸び悩んだが、令和4年度は急増している。訪問型サービスAについては利用なし、B、Dについては導入なし。	・全般的に新型コロナウイルス感染症の影響があり、事業を拡大することが出来なかった。	・認知度が低いため、地域包括支援センターを通じて周知を強化し、参加者の増加につなげる。また、市の実情に応じ、訪問型サービスBや訪問型サービスDの導入を検討していく。
				訪問型サービスA （緩和した基準による サービス）	見込値	114	186	258				
				訪問型サービスB （住民主体による 支援）	見込値	3	4	5				
				訪問型サービスC （短期集中予防 サービス）	見込値	59	77	95				
				訪問型サービスD （移動支援）	見込値	3	4	5				
					実績値	0	0					
	ア-②通所型 サービス	89	通所介護（旧制度介護 予防通所介護相当）	見込値	5,426	5,520	5,680	未達成	・通所型サービス（旧制度介護予防通所介護相当）は減少傾向にある。通所型サービスA、Cについては、令和3年度は減少傾向だったが、令和4年度は参加者が増加している。	・新型コロナウイルス感染症の影響があり、事業を拡大することが出来なかった。	・引き続き周知を強化して参加者の増加につなげる。また、通所型サービスBについては、実施の検討を行っていく。	
			通所型サービスA （緩和した基準による サービス）	見込値	378	486	597					
			通所型サービスC （短期集中予防 サービス）	見込値	45	45	45					
				実績値	659	724						
				実績値	10	126						
ア-④介護予防ケア マネジメント	90	実施件数	見込値	4,484	4,619	4,802	—	・介護予防・日常生活支援総合事業による介護予防・生活支援サービス等を適切に提供できるよう、要支援等に対し、機能回復や自立支援等に向けたケアマネジメントを行っている。	（見込み値は必要量の見込みであるため、「達成」「未達成」にはそぐわない。）	・利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことのできるよう配慮すること、また、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、利用者の自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、当該目標を踏まえ、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮したケアマネジメントを実施していく。		
			実績値	4,262	4,234							
イ-①介護予防把握 事業	91	基本チェックリスト 実施者数	実績値	68	73	—	・市、地域包括支援センターの相談により、介護予防が必要な方に対し、基本チェックリストを実施し、生活機能の低下や閉じこもり状態の有無の把握を実施している。 ・機能低下等が見られる場合は、介護予防・日常生活支援総合事業や介護予防事業等への参加を勧めている。	—	・高齢者が要介護状態になることを予防するため、基本チェックリスト及びアセスメントを、引き続き適正に行っていく。			

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性				
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性
2 介護 予防 の 推 進	イ②a) 楽しく長生き講座	92	実施回数	見込値	50	55	60	未達成	・体操、運動、栄養、口腔、認知症予防など様々な分野を出前講座として行った。	・令和2年度、3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が中止となっていた時期があったため。 ・また、講座メニューが令和3、4年度と変更がなくマンネリ化してしまっただけのため。	・受講者アンケートを分析し、新しい講座メニューにつなげる。 ・受講申込の少ない、自治会やシニアクラブへの周知を強化する。
				実績値	23	36					
			延べ参加者人数	見込値	1,000	1,050	1,100				
				実績値	296	539					
	イ②c) エンジョイ！やすらぎ事業	93	骨盤ストレッチ (実施回数)	実績値	5	5		-	・社会福祉協議会へ委託している介護予防事業。 ・高齢者が様々なメニューの中から希望する講座を選択し、自ら活動に参加することで、閉じこもり防止や生活機能の維持、向上を図ることができるよう実施している。 ・年度毎に介護予防に資するメニューを企画し、多く参加いただけるよう工夫している。	-	・行田市総合福祉会館等公共施設の活用及び社会福祉協議会の専門職により、効果的な内容で実施していく。
			骨盤ストレッチ (参加人数)	実績値	68	61					
			ストレッチ教室 (実施回数)	実績値	-	-					
			ストレッチ教室 (参加人数)	実績値	-	-					
			ウォーキング教室 (実施回数)	実績値	-	-					
			ウォーキング教室 (参加人数)	実績値	-	-					
			ノルディックウォーキング教室 (実施回数)	実績値	4	4					
			ノルディックウォーキング教室 (参加人数)	実績値	46	47					
			水中ウォーキング教室 (実施回数)	実績値	4	-					
			水中ウォーキング教室 (参加人数)	実績値	15	-					
			水泳教室 (実施回数)	実績値	-	-					
			水泳教室 (参加人数)	実績値	-	-					
			脳トレ体操教室 (実施回数)	実績値	8	7					
			脳トレ体操教室 (参加人数)	実績値	100	99					
	カラオケ教室 (実施回数)	実績値	-	-							
	カラオケ教室 (参加人数)	実績値	-	-							
	マジック教室 (実施回数)	実績値	4	5							
マジック教室 (参加人数)	実績値	40	28								
水中太極拳教室 (実施回数)	実績値	-	4								
水中太極拳教室 (参加人数)	実績値	-	28								
イ③地域介護予防活動支援事業	94	新規団体数	見込値	10	20	30	未達成	・住民主体の通いの場にて、リハビリ専門職の指導によりおもりを促した体操を実施。	・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、派遣できるリハビリ専門職が少なく、団体に対し広く希望を募ることができなかったため	・新規団体数が少ないため、増設に向けて体験会及び周知を行う。 ・体操を指導する指導者を育成するための指導者養成講座を実施する。 ・参加者のモチベーション低下を防ぐため、体操を継続している団体に対し体力測定等定期的な支援を実施する。	
			実績値	2	9						
		参加者実人数	見込値	100	200	300	-	・介護予防事業所や地域住民が運営する通いの場にて、リハビリ専門職が助言、指導を実施。	・新型コロナウイルス感染対策により中止とした他、住民の地域活動が縮小され申し込みが少なかったため	・申込団体数が少ないため、リハビリ専門職、地域包括支援センターと連携し、周知を行う。	
			実績値	31	200						
イ⑤地域リハビリテーション活動支援事業	94	利用団体数	実績値	1	4		-	・介護予防事業所や地域住民が運営する通いの場にて、リハビリ専門職が助言、指導を実施。	・新型コロナウイルス感染対策により中止とした他、住民の地域活動が縮小され申し込みが少なかったため	・申込団体数が少ないため、リハビリ専門職、地域包括支援センターと連携し、周知を行う。	
		参加実人数	実績値	10 (実人数)	187 (延人数)						

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性						
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性		
3 地域 包括 ケア シス テム の 充 実	(1) 包 括 的 支 援 事 業	ア⑥地域包括支援センター会議の開催	101	包括スタッフ会議	実績値	2	6		—	・困難事例の検討や、国や県、市の重要施策の研修、情報交換を定期的に行い、地域包括支援センター職員の資質の向上や業務遂行能力の均衡を図っている。	—	・地域包括支援センター職員の資質の向上や業務遂行能力の均衡等を図り、職種の専門性の発揮及び職種間連携を図る。	
				専門職による専門部会	実績値	32	41						
			ア⑦総合相談支援業務	102	相談件数	実績値	7,746	6,845		—	・市内5カ所の地域包括支援センターで、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援を幅広く把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービスや、適切な期間又は制度の利用につなげるための支援を行っている。	—	・地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。 ・また、高齢者本人のみならず、介護を行う家族等に対する支援及び複合化・複雑化した課題を抱える個人や世帯に対する適切な支援・対応を行うため、他の相談支援を実施する機関と連携するとともに、必要に応じて引き続き相談者とその世帯が抱える地域生活課題全体の把握に努めながら相談支援を行う。
			虐待等の相談	実績値	16	0							
			消費者被害等の相談	実績値	6	0							
			ア⑨包括的・継続的ケアマネジメント業務	103	相談件数	実績値	677	0	—	・市内5カ所の地域包括支援センターの主任介護支援専門等が、地域における介護、医療等に関する多職種が連携・協働することにより、高齢者の日常生活を包括的かつ継続的に支援するとともに、居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）が抱える困難事例等に対する支援を行っている。	—	・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携など、地域において、多職種相互の協働等により連携するとともに、介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援及び介護給付におけるケアマネジメントとの相互の連携を図ることにより、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。	
					圏域別サービス担当者会議	実績値	335	0					
			ア⑩地域支援ネットワーク会議の開催	104	担当圏域毎の会議	実績値	中止	53	—	・地域福祉の協力者である民生委員・児童委員、地域包括支援センター相談協力員と各機関の顔の見える関係の構築や地域情報の共有、支援調整などを行うため、年2回会議を開催している。 ・令和2～3年は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止ため会議を中止したが、令和4年度は再開した。	—	・本会議を通じて、引き続き関係機関や地域住民との連携を深めながら、支援が必要な高齢者を把握するとともに、地域課題の把握を行っていく。 ・会議を継続することで、連携体制をさらに深めていく。	
			イ①地域ケア推進会議	105	開催数	見込値	12	12	12	達 成	・高齢者本人の自己実現に資する介護予防活動や生活支援・介護サービス等の提供のため、高齢者の生活の質の向上を目指し、多職種（歯科医師又は歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士等）の助言を得ながら、自立支援、介護予防、重度化防止の観点からケアマネジメント、サービス提供の方向性を一致させていくことを目的に実施している。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により中止となった会議があった。	—	・検討した内容が、自立支援、重度化防止に資するケアマネジメント、サービス提供となったか検証を行うことが必要。 ・今後は、検討をおこなったケースのモニタリングを実施していく。
	実績値	8				12							
	イ②地域ケア個別会議	106	地域ケア個別会議開催数（緑風苑）	実績値	5	1	—	・介護支援専門員が抱える困難事例や、地域住民や関係機関による支援要請事例等について、多職種による検討を行い、自立支援に資するケアマネジメントの支援並びに地域で不足している社会資源の把握及び開発につながるよう会議を開催している。	—	・地域包括支援センターにより、会議開催の実施、開催の判断等のバラつきがあること、会議におけるマネジメント力に差が見られるため、困難事例に対する対応力及びマネジメント力向上等の能力向上を行っていく。 ・また、会議で検討した個別事例のモニタリング、支援終了を実施していく。			
			地域ケア個別会議開催数（壮幸会）	実績値	0	0							
			地域ケア個別会議開催数（まきば園）	実績値	0	0							
			地域ケア個別会議開催数（ふぁみいゆ）	実績値	0	3							
			地域ケア個別会議開催数（ほんまる）	実績値	1	0							
	ウ①行田市在宅医療・介護連携推進協議会	109	開催数	実績値	1	1	—	・地域における保健、医療、介護及び福祉に関する関係者相互間の在宅医療及び介護に対する理解を深めるとともに、連携を円滑にするため、必要に応じ年1回開催している。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、開催していない。	—	・地域における保健、医療、介護及び福祉に関する関係者相互間の在宅医療及び介護に対する理解を深めるとともに、連携を円滑にするため、必要に応じ開催していく。			

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性					
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性	
3 地域 包括 ケア シス テム の 充 実	(1) 包 括 的 支 援 事 業	ウ・②行田市在宅医療・介護連携推進協議会 作業部会	109	入退院調整部会開催数	実績値	0	0	—	・在宅医療・介護連携推進協議会等で行われた課題を具体的に解決していくために、作業部会を開催し協議を行っている。	—	・課題をある程度解決したため、必要性が薄れた部会がある。新たな分野の課題に対し、新規部会の設置が必要か検討する必要がある。 ・在宅医療・介護連携に関する課題解決のため、引き続き作業部会を設置し、協議を継続する。	
				研修部会開催数	実績値	6	9					
				患者情報共有・ICT部会開催数	実績値	2	7					
				普及啓発部会開催数	実績値	0	0					
		エ・①認知症地域支援推進委員の配置	112	認知症支援事業推進員の配置状況	見込値	10	10	10	達成	・毎月推進員会議を開催し事例検討等を行い対応力の向上と地域課題に即した事業等の検討を実施 ・徘徊模擬訓練の実施。 ・認サポ開催時に認知症相談会を同時実施。 ・認知症カフェ事業者意見交換会、ボランティアマッチングイベントを開催（ボランティア希望者名簿の提供と活用依頼）	・全地域包括支援センターに推進員を配置し、施策を進めている。	・生活圏域ごとに課題が異なるため、地域の実情に応じた事業展開が必要。事業の展開により、地域への理解につなげる。 ・支援が必要な方の掘り起こしを進め、必要なサービスにつなげる。
		エ・②認知症初期集中支援事業	113	認知症初期集中支援チーム数	見込値	1	1	1	達成	・医療・介護・福祉の専門職と専門医で構成されるチームによる、認知症の発症後のステージとしての初期段階への集中対応を行っている。令和3年度、4年度では、チーム対応件数が減少しているが、地域包括支援センターや高齢者支援を行う機関の対応力が向上し、認知症初期集中支援チームへの相談件数も減少していると考えられる。	—	・認知症初期集中支援チームの設置は継続。 ・認知症高齢者の増加は見込まれるため、関係機関の認知症対応力向上のため、対応に関する相談、医療機関との連携を引続き行っていく。 ・地域包括支援センターに配置している認知症支援推進員等との協働により、認知症施策の策定に関与していく。
		認知症初期集中支援チーム対応件数	実績値	1	1	1						
		エ・③認知症カフェ（オレンジカフェ）	114	実施回数	見込値	60	90	120	未達成	・認知症の方や家族、友人、地域の方、ボランティア、専門職などが集まり、認知症に関する情報交換、専門職への相談ができる場を設置。 ・市内8か所に委託し、各事業所につき、月1回実施。	・新型コロナウイルス感染対策により中止とした他、住民の活動が自粛され参加者が少なかったため。	・認知症本人、家族の参加が少ないため、チラシを作成し市民に広く周知する。介護事業所等とも連携をとり周知をはかる。 ・ボランティアを活用し、地域に開かれたカフェ運営を図る。
		参加人数	見込値	700	1,350	1,800						
		ア・①介護教室の開催	117	実施回数	見込値	10	10	10	達成	・市内5カ所の地域包括支援センターに委託し、介護者や介護に関心のある方などに対し、適切な介護知識や介護技術、外部サービスの利用方法の習得、介護者等の情報交換を行う教室を実施している。	—	・ケアラー支援として、今後ますます重要性が高まっていくため、引き続き開催し、介護に関する知識、技術の提供の他、ケアラー同士の情報交換等による負担感の軽減を目指す。
		ア・②徘徊高齢者等早期発見シールの配布	118	配布人数	実績値	16	17		—	・徘徊高齢者等の早期保護と事故の未然防止を図るとともに、徘徊高齢者等を在宅で介護する者またはその家族の精神的負担の軽減を図るために、徘徊高齢者等の持ち物等に貼る反射シールの配布を行う。	・徘徊高齢者等を介護する介護者及び家族からの問い合わせに対して、本事業の利用を勧めることができています。	・引き続きシールの配布及び周知に努める。
		ア・③徘徊高齢者等位置探索サービス事業	119	G P S 端末貸与数	実績値	0	0		—	・徘徊高齢者等の早期保護と生活の安全を確保するとともに、徘徊高齢者等を在宅で介護する者又はその家族の精神的負担の軽減及び安心して介護ができる環境を整備することを目的として、徘徊高齢者等の現在位置を知らせる端末機器の貸与等を行っている。	—	・徘徊高齢者等が端末機器をもっていないと位置の確認ができないこと、類似事業の徘徊高齢者等早期発見シールの配布事業を行っていることから、近年利用者数が激減している。 ・事業の必要性を見直し、廃止も検討していく。
	ア・④認知症サポーター養成講座	120	実施回数	見込値	25	30	35	未達成	・地域や職場において、認知症に関する正しい知識や対応方法を学び、より多くの方に認知症とその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する講座を実施している。 ・令和3年度までは、機能強化型地域包括支援センターが、令和4年度から地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員により、認知症サポーター養成講座の定期開催を行っている。 令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等により開催回数が減少した。	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止等により、1回の開催あたりの参加者数が減少し、参加人数の目標達成はできなかった。	・認知症高齢者の増加が見込まれるため、引き続き定例開催を実施していく。 ・また、地域の団体、企業にも呼びかけ、受講人数（参加人数）の増を図り、認知症とその家族を見守る応援者を増やすことで、認知症高齢者等が地域で安心して暮らしていける地域づくりを行っている。	
	参加人数	見込値	375	600	700							
				実績値	304	101						

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【基本目標3】安心して暮らせる高齢者福祉の充実

施策	取組	ページ	指標	第8期計画			現状の評価と今後の方向性						
				区分	R3年度	R4年度	R5年度	実施状況	取組状況	達成出来た（出来なかった）要因	課題と今後の方向性		
3 地域 包括 ケア シス テム の 充 実	(2) 任意 事業	ア・⑤紙おむつ給付事業の実施状況	利用登録者数（人）	実績値	200	179	—	・在宅の要介護者及び重度心身障害者に対し紙おむつ（尿取りパッドを含む。）を給付することにより、本人及びその家族を援助し、その精神的及び経済的負担の軽減を図り、もって福祉の増進に寄与することを目的として実施している。 ・国の地域支援事業実施要綱の改正により、対象者の要件により、地域支援事業での実施（介護保険事業費特別会計）と市独自事業（一般会計）での実施を行っている。	—	・今後の国の地域支援事業実施要綱の改正により、事業の継続、内容変更等の見直しが必要になる。 ・また、要介護高齢者の増加等により、利用者の増が見込まれる。 ・現在、事業を委託方式で実施しているが、高齢者個人に合わせた紙おむつ等の種類変更や配布期間の調整等の困難さがあることから、利用者の利便性を考慮し、実施方式（委託方式→補助方式）の変更の検討が必要。			
			イ・①成年後見制度利用支援事業	市長申し立て数	見込値	2	2	2	達 成	・成年後見制度の市長申立てや、低所得者に対し成年後見人等に支払う報酬の助成等を行う事業。	・支援を行う必要が生じた際に、的確に対応することができた。	・今後支援を行う必要が生じた際に、迅速かつ的確に対応できるよう予算確保に努める。	
		成年後見制度利用支援事業利用者数		見込値	2	2	2	実績値					0
	イ・③a 高齢者等配食サービス事業	利用登録者数	実績値	190	223	—	・高齢者等に対し、栄養のバランスのとれた食事を自宅へ配達する（一人につき週4食まで）とともに、高齢者等の安否確認等を行っている。	—	高齢者のみ世帯の増加により、食事の援助や安否確認を必要とする方が増えると見込まれる。 配食サービスは、民間事業者により実施されていることもあるため、適正な受益者負担や対象者の見直しを含め、事業の在り方について、検討する必要がある。				
		④法人後見事業の推進	相談件数	見込値	40	50	55	未達成	・平成30年度までは1～2件の受任状況であったが、福祉課から候補者依頼の件数もあり受任件数に関しては徐々に増加傾向である。しかしながら、制度に関する問い合わせ及び相談件数については横ばいの状況である。 ・広報活動として平成30年度、令和3年度に講演会等のイベントを開催するも、制度理解、本会の相談窓口機能、ともに市民からの認知度が低い状況である。	・受任件数については、成年後見制度の実績に伴い、市からの候補者依頼があるため、若干の増加傾向である。また令和3年度より対象者拡充のため要綱改正を行い、市長申立に限らず福祉サービス利用援助事業からの制度移行者も対象としたこともあり、令和5年度に2件（親族申立）の受任を予定している。 ・相談件数については、事業開始当初は身寄りのない方への制度利用のための受け皿を原則しており、相談機能としての役割及び周知は積極的に実施しなかった。今後は受任経験に基づく相談機能を拡充させていく。	・相談窓口の周知のため、パンフレットの作成・配付を実施する。 ・出前講座においても派遣要請しやすいメニューを作成する。 ・今後受任件数の増加を図り、後見人としての知識と経験を深めていく。		
	受任件数		見込値	5	7	8	実績値					5	5
(3) 高 齢 者 へ の 虐 待 防 止 対 策 等	⑤「あんしんサポートねっと」の推進	相談件数	見込値	15	15	15	未達成	・関係機関との連携・担当者会議への出席 ・生活支援員の資質向上 ・成年後見制度への移行	・精神的に不安定など、専門員での対応が必要な利用者が一定数おり、生活支援員への移行が進んでいないため。	・対応する生活支援員の確保・育成を図るとともに、支援を必要とする方を適切に把握できるよう、関係機関と連携していく。また、利用者の判断能力や必要な支援内容の変化に応じて、専門職へつなぐ等、成年後見制度への移行を進める。			
		利用者人数	見込値	45	48	50					実績値	59	53
		生活支援員数	見込値	6	6	6					実績値	4	4
4 介 護 保 険 向 け 事 業 の 推 進 に	(1)介護給付等費用適正化事業の推進	129	要介護認定調査の適正化（新規申請）	実績値	1,006	1,051	—	・介護認定調査の状況に係る点検や、ケアプランの点検、住宅改修等の点検、医療情報との突合・縦覧点検及び介護給付費通知を行うことで、介護給付等に要する費用の適正化に努めた。	—	・引き続き点検や通知等を行い、制度趣旨や良質な事業展開のために必要な情報の提供など、事業者の育成、質の向上に取り組み、利用者に適切なサービスを提供できる環境の整備を図るとともに、介護給付費の適正化を図る。			
要介護認定調査の適正化（更新申請）			実績値	1,741	1,794								
要介護認定調査の適正化（変更申請）			実績値	455	476								
ケアプランの点検（書類の数）			実績値	90	93								
住宅改修の点検（施工後の現地確認）			実績値	0	0								
医療情報との突合・縦覧・点検（介護実施分）			実績値	1,135	1,137								
介護給付費の通知（年2回）			実績値	5,582	5,649								